序論

A. 神様は、ビジョンを通して働かれる
   a. 使徒 1:8
   b. マタイ 28:18
   c. マタイ 24:14
   d. マルコ 16:15
   e. ヨハネ 21:21

1. 1. パウロは幻の中で働き、それを公言することを恥じなかった。
   a. ローマ 1:11
   b. ローマ 15:24
   c. 使徒 16:9
   d. ローマ 15:20

B. ビジョンは私たちの希望であり目標であり、信仰は希望を実現するために進む行動［ヘブル 11:1]

C. 私たちはビジョンを明確にし、それを宣言しなければならない［ハバクク 2:2]

II. テキストから

A. 聖霊の注ぎによりエルサレムの教会で何が起こっていたのかを理解すること、
   信じる民が劇的に増えて行った。[使徒 2:41, 2:47,4:4,4:32,5:12-16,5:42,6:7]

B. スティーブンの殉教の後、何が起こったか。
   1. エルサレムで教会に対する大迫害が起こり、教会はユダとサマリアの各地に散らされた。
   2. ピリポはサマリアに行き、多くの人々が救われ、癒され、聖霊に満たされた。
   3. ピリポは神によって派遣され、エチオピアの宦官に福音を伝え、その人は救われ、エチオピアに福音を伝えるようになりました。
   4. キリスト教徒を迫害していたサウルが、主イエスに出会い、熱烈なキリスト教徒になる

C. 使徒 11:19-21 ステパノの殉教結果 フェニキア、キプロス、アンティオキアで教会が設立され、
   アンティオキアでは多くの人々が救われました。

D. 使徒 13:1-3, 神様の願いは、使徒パウロとバルナバにキプロスとフェニキア地方で教会を建てる事

III. 神様が語っておられること

A. 神の教会が成長することを望んでおられる
   1. 教会は、特定の場所で働く神の王国の目に見える表現である。
   2. 教会は、御心を成し遂げるために働くご自身の体であり、人々の世話をする弟子を作り、神から与えられた目的に沿って人々を解き放つ存在である。

B. 私たちは、自分の力ではなく、御霊の力に頼って、聖霊に満たされ続けなければならない

C. 私たちは、御声に従わなければならない。

D. 救われるべき魂への情熱を失わないで。たとえ自分の快適ゾーンを離れ、未知の世界へ信仰の一歩を踏み出す覚悟があったとしても。

E. 教会の構造を変えることに前向きであり、神の導きに従って新しいビジョンを受け入れる

F. 私たちは神と共に共に働く者であることを心に留めておく。

IV. 2026 年の主のことばとこの季節のビジョン。

A. 神様は悲劇的なステファンの死を、エルサレムの教会を燃え上がらせ、神の使命を成し遂げるためのきっかけに変えられた

B. **すべての場面で、神はご自身の教会と共におられ、彼らに命じられたことを成し遂げさせた。**

C. **<u>聖霊の力に点火する</u>**

V. 結論

2026 年の言葉は「IGNITE」点火、23/250 のビジョン